コラム④

シベリアのダフリア地方はどこ？

グイマツ（シコタンマツ）は大昔北海道に生育していた。学名は Larix gmelinii var. japonica という。この母種はダフリアカラマツ（ダウリアカラマツ）である。

このダフリア Dahuria またはダウリア Dauria とはどこの地方を指すのでしょうか。豊国の『植物学ラテン語辞典』には、dahuricus, dauricus, davuricus はシベリアのダフリアの意とある。牧野図鑑の学名解説(種小名)には dahuricus シベリア、ダフリア地方の（バイカル湖の以東をさす）とある。バイカル湖は中央シベリアの南に位置し、その東側にあたるということである。

ダフリアの語意は広義のモンゴル系集団の民族名で、この民族名称は地域により異なり、英語表記ではダフール(Dafur, Daghur)、ダウール＝ダウル(Daur)、ダグール＝ダゴール (Dagur)、ダホール (Daghor) など様々に呼ばれてきたが、現在では「ダウール」に統一されている。

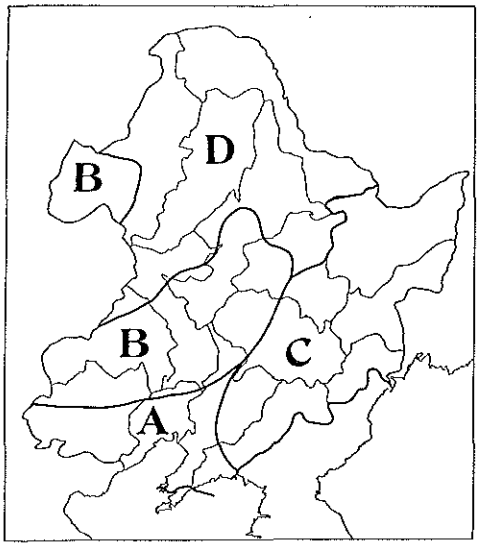
『世界民族事典』には、この少数民族は 17 世紀半ばまでアムール川（黒龍江）の上・中流域で定住村をつくり、農耕・牧畜と狩猟や漁労に従事していたが、ロシアの圧迫をうけて南下し 17 世紀末には完全に清朝の支配に入った、という。

このことより植物地理学でダフリアと呼ばれるのは、アムール川の上・中流域を指し、その東限は大興安嶺東麓あたりを言うのでしょう。北川政夫の満州植物分布区図にダフリア系植物分布区があるので、地図を引用して紹介する。

ダフリア地方の植物研究をした人にツルチュザニノフ Turczaninov がいる。彼は 1838 年「バイカル地方およびダフリアの植物目録」、1842-56 年「バイカル・ダフリア植物誌」を出版している。彼が命名した植物にエゾムグラ Galium dahuricum Turcz., ハマムギ Elymus dahuricus Turcz がある。

（松井　洋）

北川博士の満州植物分布区図



A）北支那系植物分布区
B）蒙古系植物分布区
C）満州系植物分布区
D）ダフリア系植物分布区
『植物誌北方篇』(1945) より